

## Ⅱ わくわく問題（教科横断型問題）の内容・目的、強み・課題等、指導改善のポイント

### ○問題の内容・目的について

#### 【出題内容・目的】

教科の枠を超えた日常の活動や現代的な諸課題（SDGs、プログラミング的思考）等をテーマに、問題をつかみ、資料を読み取ったり思考したりして、自分の考えを表現する力を問う内容が出題されており、文章やグラフ、ホームページの映像を模した場面等の様々な資料を題材としています。

○問題1では、食品ロス問題を考えることを通して、社会の諸問題について興味関心を持ち、自ら課題を見出し、調べたり、話し合ったりして解決策を考えようとする態度、技能を育てることを目的としています。

○問題2では、児童が探究活動を行う際の方法として最も多いであろうインターネットの資料や図書資料を題材とし、動画の会話の内容を正しくとらえながら、資料と動画を関連させて理解することを目的としています。

○問題3では、身近な課題である熱中症を題材に、児童が大阪の人へ注意を呼び掛けるポスター作りをする設定で出題しています。目的をもって複数のグラフを読みとり、そこから自分の伝えたいことや効果的に伝えるための工夫を考えることを目的としています。

#### 【観点について】

主に思考力、判断力、表現力を問うことを目的としていることから、観点をA～Eの5つ（以下に提示）に分類しています。

観点A「図や表、グラフ、短い文章、会話文等に示された内容を関連付けて、正しくとらえる」

観点B「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を正しく理解し、自分の考えを持ち、伝える」

観点C「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、新たな課題となる事から考える」

観点D「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、順序良く、論理的に考える（プログラミング的思考）」

観点E「興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝えようとする」

### ○豊中市の強み・課題等、指導改善のポイントの解説について



- ・観点A～Eをもとに、「問題をとらえる（読み取る）」「思考する」「伝える（表現する）」の3点における豊中市の子どもたちの強みや課題について分析を行います。
- ・思考力、判断力、表現力の向上に向けた授業改善のポイントとして、思考するために必要な「比較する」「分類する」「関連付ける」などの「考えるための技法」について示します。

## 5・6年生 わくわく問題（教科横断型問題）

### 【5年生・6年生に見られる強み】

- ・ 全ての問題において大阪府の平均正答率を上回っています。
- ・ 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を正しく理解し、自分の考えを持ち伝える観点や興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して伝えようとする観点の問題において正答率が高くなっています。

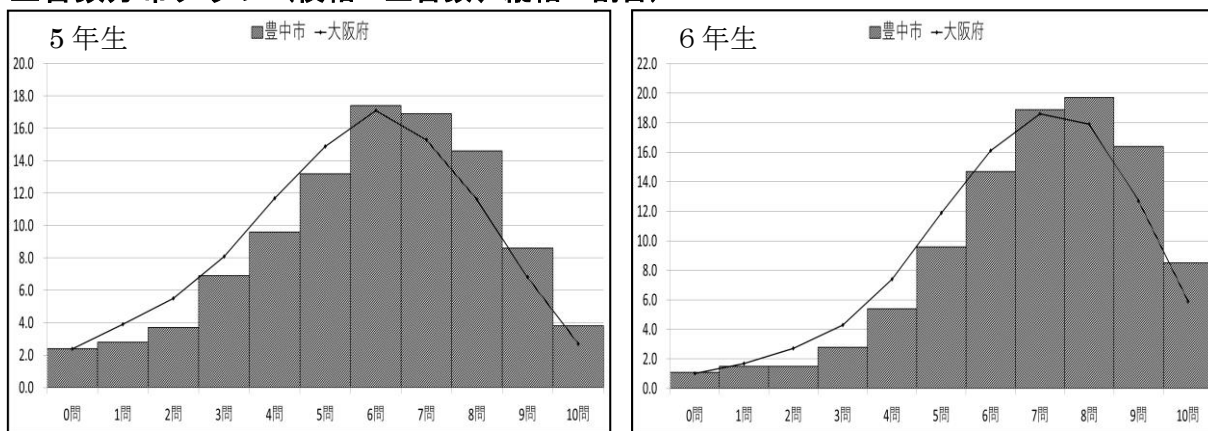
### 【5年生・6年生に見られる課題】

- ・ 記述式の問題で正答率が低くなっており、問われていることが何かを把握し、理由や根拠を明確に整理して説明することに課題が見られます。

### 【5年生・6年生の結果から見られる特徴】

- ・ 5年生と6年生の平均正答率は、全体で平均10ポイント程度の差が見られました。
- ・ 「2つの情報を適切に読み取る」「適切な条件を設定する」「選択した資料をもとに伝えたいことを表現する」といった資料の情報をもとに読み取る問題において、大阪府の平均正答率との差は6年生が5年生に比べて1.5ポイント以上高い結果となりました。
- ・ 「工夫を読み取り、具体的に説明する」「文章や絵を用いて効果的に表す」といった自分の考えを伝える問題において、大阪府の平均正答率との差は5年生が6年生に比べてポイントが高くなっています。

### 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



5年生 総問題数10問中、6問の正答数を頂点とする右寄りの山型に分布している。

6年生 総問題数10問中、7問の正答数を頂点とする右寄りの山型に分布している。

### 【観点A】

「図や表、グラフ、短い文章、会話文等に示された内容を関連付けて、正しくとらえる」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市 (公立)		大阪府 (公立)	
			5年	6年	正答率 (%)	正答率 (%)
1 (1)	店や家庭から出る食べ物に関わるごみの量とそのうちの食品ロスの量に関する資料1から分かることについて適切なものを選択する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図や表から読み取る</li> <li>・ 選択式</li> </ul>	5年	39.2	37.1	
			6年	48.0	45.2	

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市(公立)		大阪府(公立)
			正答率(%)		正答率(%)
2(1)	与えられた二つの情報(会話文)をもとに、農家の人が一房のぶどうの中で最も甘いと言っている部分を、ぶどうの図に色を塗って示す	・会話から読み取る ・資料の情報を整理して伝える ・図や表に表す	5年	12.2	9.3
			6年	20.3	15.8
3(1)	【ひかりさんのまとめ】(書き方の見本)をふまえ、ポスターに含まれる表現の工夫を読み取り、自分の考えを説明する	・文章から読み取る ・図や表から読み取る ・自身で考えたことを伝える ・記述式	5年	47.7	43.8
			6年	54.8	52.8

□文章、図や表から目的を捉えることは、できている。(読み取る)

■2つの情報を適切に読み取ることに課題がある。(読み取る)

■2つの情報を関連付けて結論を導き出すことに課題がある。(思考する)(伝える)

■文章、図や表から読み取ることに比べ、会話から読み取る問題の正答率が低い傾向がある。

( □…比較的できている、概ねできている ■…課題が見られる )

### 課題があった問題(問題2(1))

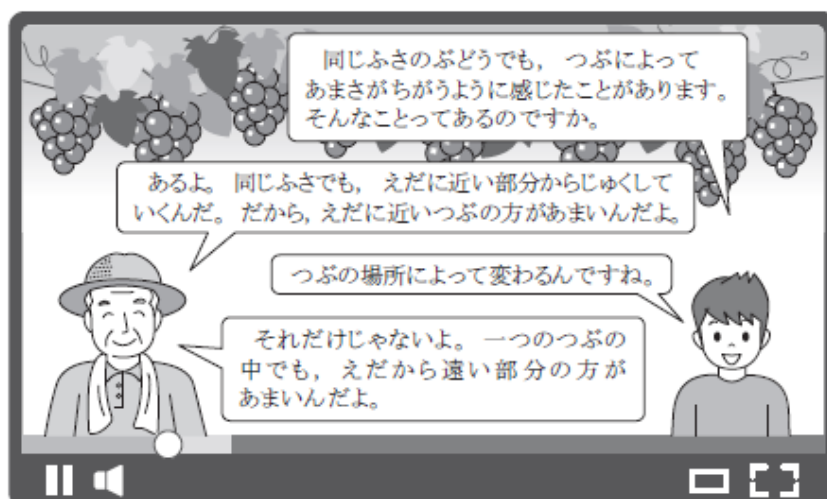
■「房で見ると、枝に近い実の方が甘い」「粒で見ると、枝から遠い部分の方が甘い」という2つの情報を適切に読みとり、図に表す問題

正答率 5年生 豊中市 12.2% 大阪府 9.3%  
6年生 豊中市 20.3% 大阪府 15.8%

② けんたさんは自由研究で、地いきでさかんにさいばいされているぶどうについて、いろいろな資料を見て調べることにしました。

(1) インターネットで調べていると、ぶどうの味のちがいについて農家の人にインタビューをしている動画(資料1)が見つかりました。資料1を読んで、あとの問いに答えましょう。

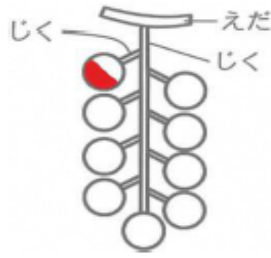
#### 動画(資料1)



農家の人が同じぶさのぶどうの中で最もあまいと言っているのはどの部分ですか。かい答らんのぶどうの図に色をぬってしめしましょう。

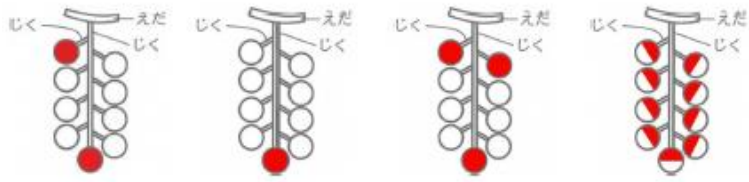
正答例

資料で与えられている  
2つの情報を適切に読み取って解答している。



豊中市で最も多かった解答例

(反応率: 5年生 56.9% 6年生 51.7%)



このように解答している児童は、資料で与えられている2つの情報をどちらも適切に読み取ることができなかつたものと考えられる。

改善に向けて

※反応率とは、解答類型別の割合を示しています。

複数の情報を適切に読み取るためには、複数の情報を関連付けながら整理して読むことが重要である。そのために、授業や学習の振り返りの場面で「関連付ける」に関連したクラゲチャート<sup>①</sup>を用いて児童が思考していくなど、考えるための技法の活用が考えられる。

※『すくすくウォッチ わくわく問題参考資料』(令和3年10月 大阪府教育庁) 参照

観点B「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を正しく理解し、自分の考えを持ち、伝える」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市 (公立)		大阪府 (公立)	
			正答率(%)		正答率(%)	
1(2)	会話【話し合いの様子】の内容をもとに、家庭の食品ロスを削減するための具体的な取り組みについて書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話から読み取る</li> <li>・自身で考えたことを伝える</li> <li>・記述式</li> </ul>	5年	59.0	54.1	
			6年	72.6	67.2	
1(3)	資料【調べカード】を読み、食品ロスを削減すると解決される食品ロス以外の問題と、その問題が解決する理由を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話から読み取る</li> <li>・図や表から読み取る</li> <li>・自身で考えたことを伝える</li> <li>・理由や根拠を明確にして伝える</li> <li>・記述式</li> </ul>	5年	38.1	33.0	
			6年	59.9	54.2	
2(2)	2つの情報(会話文、グラフ)をもとに、ぶどうを冷やすと甘くなる理由を説明する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話から読み取る</li> <li>・図や表から読み取る</li> <li>・自身で考えたことを伝える</li> <li>・理由や根拠を明確にして伝える</li> <li>・記述式</li> </ul>	5年	7.4	6.1	
			6年	12.8	10.5	
3(1)	【ひかりさんのまとめ】(書き方の見本)をふまえ、ポスターに含まれる表現の工夫を読み取り、自分の考えを説明する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章から読み取る</li> <li>・図や表から読み取る</li> <li>・自身で考えたことを伝える</li> <li>・記述式</li> </ul>	5年	47.7	43.8	
			6年	54.8	52.8	

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市(公立)		大阪府(公立)
			正答率(%)		正答率(%)
3(2)	参考にする資料を選び、その資料の内容を正しくとらえ、熱中症について自分が伝えたいことを具体的に説明する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図や表から読み取る</li> <li>・資料の情報を整理して伝える</li> <li>・自身で考えたことを伝える</li> <li>・記述式</li> </ul>	5年	64.6	61.7
			6年	79.2	74.2

□会話文の内容をもとに理由を考え、問題の場面に沿った解決案を提案することができている。(読み取る)(伝える)

□6年生では、選択した資料をもとに伝えたいことを具体的に考えて書くことのポイントが高い。

□■1(3)図や表、会話文の資料にある情報を用いて解答することができている(38.1%)とともに、問題が解決に至るまでの流れを順序立てて解答できていない課題(反応率:27.2%)や、設問の中で問われていることが何かを把握することや新たに入手した情報を用いて説明することについて課題(反応率:5年生20.0%、6年生8.5%)が見られた。(読み取る)

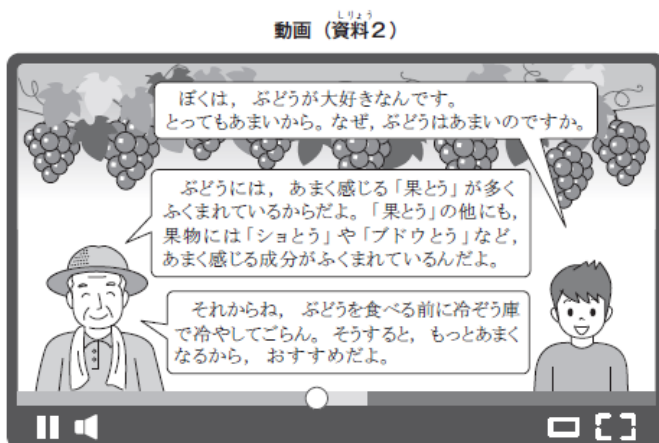
■与えられた資料の中から理由の説明に必要な情報がどれかを適切に読み取ることに課題がある。(読み取る)

### 課題があった問題(問題2(2))

■会話文とグラフをもとに「ぶどうに果とうが多く含まれていること」「果とうは冷やすと甘くなること」の2つの情報を読みとり、「ぶどうを冷やすと甘くなる」理由を説明する問題

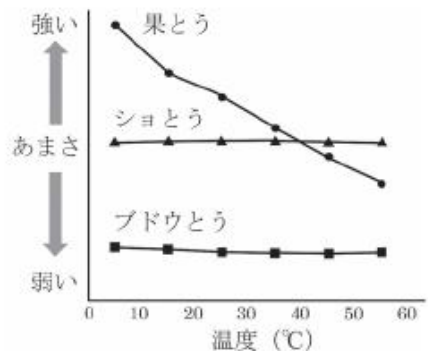
( 正答率 5年生 豊中市 7.4% 大阪府 6.1%  
6年生 豊中市 12.8% 大阪府 10.5% )

(2) ぶどうがあまり理由について農家の人にインタビューしている動画(資料2)もありました。資料2を読んで、あとの問いに答えましょう。



動画の中では、ぶどうを冷やすとあまくなる理由は、話されていませんでした。そこで、けんたさんは図書館に行って、その理由を本で調べてみました。すると、あまさと温度の関係を表したグラフ(資料3)を見つけました。ぶどうを冷やすとあまくなる理由を、資料2、資料3からわかることをもとに書きましょう。

資料3 【あまさと温度の関係】



正答の条件

次の条件を全て満たして解答している

- ① ぶどうに果とうが多く含まれていることを書いている
- ② 果とうは冷やすと甘くなることを書いている

豊中市で最も多かった解答例（反応率：5年生 48.4% 6年生 48.4%）

- ・果とうは温度が低くなると、甘さが増すから
- ・温度が低くなるにつれて、果とうの甘さが強くなるから
- ・冷やすと果とうが強くなるから

このように解答した児童は、グラフの情報を適切に読み取って説明することはできているが、会話文の情報を適切に用いて説明することができていないことから、グラフの中のみ理由となる情報があると考えて、会話文の中の必要な情報を見落としたものと考えられる。

### 改善に向けて

考えるための技法の活用においては、「理由付ける」に関連したシンキングツールを用いて、出来事や問題となる事象について、原因や理由を示しながら情報を整理することで論理的な説明につなげることができる考える。

※『すくすくウォッチ わくわく問題参考資料』（令和3年10月 大阪府教育庁）参照

## 観点C「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、新たな課題となる事からを考える」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市（公立）		大阪府（公立）
			正答率（%）		正答率（%）
1（3）	資料【調べカード】を読み、食品ロスを削減すると解決される食品ロス以外の問題と、その問題が解決する理由を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話から読み取る</li> <li>・図や表から読み取る</li> <li>・自身で考えたことを伝える</li> <li>・理由や根拠を明確にして伝える</li> <li>・記述式</li> </ul>	5年	38.1	33.0
			6年	59.9	54.2
3（2）	参考にする資料を選び、その資料の内容を正しくとらえ、熱中症について自分が伝えたいことを具体的に説明している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図や表から読み取る</li> <li>・資料の情報を整理して伝える</li> <li>・自身で考えたことを伝える</li> <li>・記述式</li> </ul>	5年	64.6	61.7
			6年	79.2	74.2

※観点Bの内容参照

## 観点D「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、順序良く、論理的に考える。（プログラミング的思考）」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市（公立）		大阪府（公立）
			正答率（%）		正答率（%）
2（3）	資料4（会話文）と資料5（表）をもとに、ぶどうのランク分けをするための条件を設定する手順を適切に理解して、図にあてはめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図や表から読み取る</li> <li>・資料の情報を整理して伝える</li> <li>・図や表に表す</li> </ul>	5年	17.3	14.4
			6年	29.5	24.9

□与えられた情報と結果から、分類に必要な条件を段階的に設定する手順を適切に理解している。（読み取る）

■最初の手順から正しく分類できていない解答が一番多かった（反応率：5年生 40.1%、6年生 49.2%）ことから、資料のどの部分に着目して分類を始めればよいか適切に考えることができなかつたものと想定され、設定した条件によって最終的にどのような結果につながるかを見通すことに課題がある。また、問題文による指示を適切に理解することができていない課題も見られる。

### 改善に向けて

考えるための技法「順序付ける」「構造化する」に関連し、〈ステップ・チャート〉を用いて情報を整理することで、どのような条件をそのような順序で設定するか考え、その順序を構造化して示すことができると考えられる。

※『すくすくウォッチ わくわく問題参考資料』（令和3年10月 大阪府教育庁）参照

### 観点E「興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝えようとする」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市 (公立)		大阪府 (公立)
			5年	6年	正答率(%)
3(3)	3(2) で書いた熱中症について自分が伝えたいことをもとにキャッチコピーを考え、熱中症のポスターの下書きと工夫した点を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章から読み取る</li> <li>自分で考えたことを伝える</li> <li>図や表に表す</li> </ul>	5年	67.3	61.6
			6年	76.7	72.4
3(4)	社会的なことがらや学校にかかわることなどから他人に伝えたいことを考えて書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章から読み取る</li> <li>自分で考えたことを伝える</li> <li>記述式</li> </ul>	5年	83.2	82.3
			6年	88.9	87.6

□社会的な事がらや学校に関わる事がらについて興味や関心を持ち、他人に伝えたいことを考えて表現することができている。(伝える)